

第2回北日本新聞社旗争奪富山県少年野球大会

大会長	梅沢 直正				
副大会長	高橋 久和	島 正明	河口 利春	勝山 良三	
実行委員長	関本 昌之	午房 一信	高森 毅	吉野 司	家城 晋一
副実行委員長	岡村 和弘	輪島 弘一	大上 辰男	澤 徹	米本 伸治
	場家 正夫	赤倉 哲郎	山崎 克己	原田 光人	柴田 好幸
	木藤 喜代勝	中山 強	浜田 貴志	田畑 一夫	増原 亮
	角田 誠	舟金 正和	村井 宗重	宮腰 和宏	朝倉 斉
	福島 正司	南 誠	舘 登志雄		
審判長	平井 直文	古川 憲一	浜田 秀樹	番場 光弘	藤本 博志
	松永 敏之				
事務局長	京谷 司	川原 裕司	樺山 健太郎	北川 憲一	

日時	予選	7月23日(土),24日(日),30日(土),31日(日) 8月1日～8月31日
	決勝	11月5日(土),6日(日),12日(土),13日(日),19日(土) 予備日 11月20日(日),26日(土),27日(日)

会場	予選	有金球場、富山県総合運動公園、常願寺グラウンド、大沢野グラウンド、 婦中スポーツプラザ、婦中(ピースフル)、大島
	決勝	富山県営球場、有金球場、県総合運動公園、新港球場、宮野球場、 大沢野スタジアム、五福公園運動場

試合方法	予選	5回戦	1ブロック3チームの総当り	1位チーム決勝進出
	決勝	7回戦	トーナメント	

表彰	優勝旗	優勝杯	金メダル	最優秀選手	最優秀投手	優秀選手
	次勝旗	次勝杯	銀メダル	優秀選手	優秀投手	敢闘賞
		3位杯	銅メダル	優秀選手	優秀投手	敢闘賞
		3位杯	銅メダル	優秀選手	優秀投手	敢闘賞
		予選全チーム			優秀選手	参加賞

参加費 10,000円

事務局 一心スポーツ 京谷 司

第2回北日本新聞社旗争奪富山県少年野球大会要項

目的	スポーツを通じ、各地域のスポーツ少年団の親睦と交流を深め健全な心身の育成に努めることを目的とする。
主催	北日本新聞社 富山県少年野球連盟
協賛	ミズノ株式会社 ダイワマルエス株式会社 ベースボールハウス MVP ベースボールハウススタジアム 株式会社エーティーワークス
後援	一心スポーツ (有)ワイズカンパニー
参加資格	全軟学童に登録し、スポーツ障害保険に加入しているチーム
構成	選手18名 監督1名 コーチ若干名
大会規約	① 試合球はダイワマルエスC球を使用する。 ② ベンチは組み合わせ番号の小さい方を1塁側とする。 ③ 試合開始30分前に集合しオーダーを提出し攻守の決定を抽選で決める。
試合方法	① 1ブロック3チーム編成をとり、総当りを行う。 ② 1試合5イニングとし、1時間20分の時間制限を設ける。但し、1時間20分を越えた回の次の回までは試合を継続することとする(次の回宣告)。 ③ 3回以降20点差でコールドゲームとする。 ④ 同点での延長戦は、特別延長(0アウト満塁継続打順)で行う。 ⑤ 勝ち点の算出方法は、勝ちチーム3点、負けチーム0点とし、総得点により順位を決める。順位に関して次の処置をとる。 1. 勝ち点の多い方は上位 2. 同率の場合、得失点差を適用(延長戦も含む)する。 3. 得失点差も同点の場合は、特別延長を行う。 ●1位チームは、決勝トーナメントに進出する。 ⑥ ボークは、1回目は注意とし、2回目から正式に宣告する。 ⑦ 審判は3チームの残り1チームが行う。 ⑧ 雨天の場合、当日第1試合、30分前に中止決定を決めます。 試合途中の雨日没等のコールドゲームは4回終了を規定とする。 ⑨ 打者走者ランナーコーチは、ヘルメットを着用し、捕手は、マスク、プロテクター、レガースを使用し、ゴムスパイクまたは運動靴を使用する。 ⑩ 審判への抗議は、監督、主将のみとする。但し、主審がすべての権限を持つ(明らかな誤審の場合は、主審/塁審の協議の上、最終決断は主審が行うこととする)。 ⑪ 試合終了後、使用したベンチおよび応援席、そのまわりを清掃してください。
決勝	① 試合は、7回戦とし、5回以降7点差コールドゲームとする。同点の場合特別延長を行う。 ② 審判は、参加各チーム登録の2名出し、1試合目は2試合目のチームで、2試合目は1試合目のチームで、3試合目は4試合目のチームで、4試合目は3試合目のチームで行う。